

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成24年度採択課題）

中間評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
24-4	大型実験および数値解析による連続アーチカルバート盛土の設計規範の構築に関する研究	京都大学 教授 木村 亮	A
<p><研究の概要></p> <p>プレキャストアーチカルバートを盛土内に連続的に設置する構造物の耐震性能を検討し、その設計規範の構築を目指す。盛土構造の弱点とされていた地域分断や閉塞感を解消し、地域の要望から橋梁を選択しなければならない地点でも盛土構造の導入を可能とし、快適で災害に強い社会資本整備をコスト削減施策の中で進めていくことが可能となる。</p> <p><中間評価結果></p> <p>現行のとおり推進することが妥当と評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none">1. 過去の研究や他部門での研究、そして本研究の成果を踏まえ、連続アーチカルバート盛土の設計規範として何が重要ポイントか整理しておくこと。			